



過去 10 年で最多!

2 日間の無料 DAY で

延べ **1,500 名**

が体験を楽しむ!!

4月28日から30日、5月3日から6日までの7日間「縄文体験・体感 WEEK!」を開催しました。縄文を楽しめる様々なメニューを目当てに、県内はもちろん関東方面や東北各県からの親子連れで賑わいました。

特に多くの人出があったのは、4月29日、5月5日こどもの日に行った入館&体験無料DAY。開館とともに多くの人々が訪れ、会場は常に満員に!特に5日は、過去10年で最多の延べ858名が縄文体験を楽しみました。

会場では、家族みんなで勾玉やシカ角ストラップ作りに没頭する姿や、家族やスタッフの応援を受けながら火おこしを頑張ったりと、縄文体験を満喫している様子でした。

期間中は、1,400名が来館、延べ1,800名に体験をしていただきました。多くのご来館ありがとうございました!



完成が楽しみ! イノシシの土鈴。

GWのみの登場の「イノシシ土鈴」。可愛らしいイノシシが出来上がりました。野焼きは1か月後。完成が楽しみ♪



みてみて!
上手に
できたよ♪

頑張った作品に大満足の子も達。笑顔カメラに向けていました。

90人が縄文人 に変身!

3・4日に登場した「縄文写真館」。縄文服を着て変身!写真の出来で家族みんなで大笑いする姿も!



カキ養殖体験



と新たな発見があったようです。

講座後、いよいよ「カキ縄作り」。地元漁師の櫻井幸作さんのご指導のもと、稚貝がついたホタテの殻を縄へ挟む作業を行いました。出来上がったカキ縄を持って、船へ乗り込みます。普段は乗れない船に子どもも大人もわくわく♪カキ棚へ出発です。

漁師さんがカキ棚へ括り付ける様子をみんなで見学。櫻井さんの養殖のお話に聞き入っていました。

今回養殖したカキは、11月に収穫します。楽しみですね!

縄文から続く海でカキを養殖し、縄文時代の食生活を学ぶ「カキ養殖体験①種付け」を4月8日に開催しました。縄文時代から食されていることがわかってる「カキ」。ここ里浜貝塚でも大量のカキ殻とカキ剥ぎに使う骨ペラが史跡公園のある浜辺から見つかったっており、カキ剥ぎが行われていたことが学芸員から説明されました。講座を聞いた皆さんからは「重さを考えて、浜辺でカキ剥ぎしていたなんて、縄文人は賢い!」「すでにカキを食べていたとは!」



縄の撚りを外し、ホタテの殻を挟みます。

種付け 第1回